

# 洪水 土砂災害 自然災害から身を守る！

浸水

これからの梅雨時期から秋にかけて、大雨や台風による洪水や浸水、土砂災害などが発生しやすくなります。昨年7月には市内で記録的な大雨が降り、市として初めて市内全域に避難勧告を行いました。災害から身を守るための備えと行動について、今一度考えてみましょう。

## 日ごろの備えを十分に!

大雨が降ったり、台風が襲来したりしたときに、皆さんが暮らしている地域や住んでいる家屋は安全ですか。地域の危険箇所の確認や家屋の点検など、日ごろの備えを十分に行うようにしましょう。



**地域の危険箇所や避難場所などの確認は“天草市防災マップ”で!**

市内の全世帯に配布しているほか、本庁・防災危機管理課や各支所担当課に備え付けてあります。また、市のホームページでもご覧いただけます。

## 空振りを恐れず “予防的避難” を!

夜間や大雨時は、避難をすること自体に危険が伴います。このため、市では危険が迫っていない明るい時間帯で早めに避難をする“予防的避難”を推進しており、台風の接近時や大雨が予想されるときには、明るい時間帯に避難所を開設することとしています。

皆さん、空振りを恐れず、ぜひ予防的避難に取り組むようにしましょう。なお、避難するときにはできるだけ飲食物やタオルケット、懐中電灯などを持参してください。



## 大雨時に避難をしなければならなくなったら...



- 安全で動きやすい服装で避難を。長靴は水がたまると動きにくくなるので厳禁!
- 歩行可能な水深は、一般的におとなの男性で70cm、女性で50cmといわれています。また、水の流れが速い場合はさらに注意が必要です。マンホールや側溝に注意しましょう。
- 隣近所で声をかけ合い、病人や高齢者は背負って避難。
- 子どもはおとなが手をつないだり、ライフジャケットなどをつける。

**避難をするのが危険だと感じたら...**

建物の2階など、できるだけ安全なところに避難しましょう。



**危険** 台風時など、雨風が強い中での次の行動はたいへん危険です。絶対にやめましょう!

- 田畑のようすを見に行く
- 屋根にあがって作業をする
- 川や海のようすを見に行く

## 非常持ち出し品の準備例

救急薬品・乾パン・缶詰・栄養補助食品等の非常食・飲料水(いずれも3日分を目安)・懐中電灯・携帯ラジオ・予備の電池・衣類・現金など。また、これらの置き場所を決めておきましょう。

